



平成30年7月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年3月9日

上場会社名 株式会社鳥貴族

上場取引所 東

コード番号 3193 URL <http://www.torikizoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大倉 忠司

問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 小畑 博嗣

TEL 06-6562-5333

四半期報告書提出予定日 平成30年3月13日

配当支払開始予定日

平成30年4月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年7月期第2四半期の業績(平成29年8月1日～平成30年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年7月期第2四半期	16,509	18.5	891	51.0	855	47.8	547	30.9
29年7月期第2四半期	13,925	22.7	590	13.0	578	12.6	418	10.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年7月期第2四半期	47.21	
29年7月期第2四半期	36.11	35.99

(注)平成30年7月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年7月期第2四半期	16,444	6,834	41.6
29年7月期	15,942	6,333	39.7

(参考)自己資本 30年7月期第2四半期 6,834百万円 29年7月期 6,333百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年7月期		4.00		4.00	8.00
30年7月期		4.00			
30年7月期(予想)				4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年7月期の業績予想(平成29年8月1日～平成30年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,939	25.9	2,363	62.2	2,281	59.9	1,339	38.4	115.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年7月期2Q	11,622,300 株	29年7月期	11,622,300 株
期末自己株式数	30年7月期2Q	34,700 株	29年7月期	34,700 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年7月期2Q	11,587,600 株	29年7月期2Q	11,578,397 株

(注)当社は、平成29年7月期第2四半期会計期間より株式給付信託(BBT)を導入しており、純資産の部において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、人手不足を背景に雇用及び所得環境の改善が進む中、企業収益の改善も持続しており、緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、海外経済の不確実性もあり、依然として不透明な状況が続いております。外食業界におきましては、原材料費の高騰、人件費の上昇及び人手不足等を背景に経営環境は引き続き厳しい状況にあります。

このような状況の中、当社では、新たに中期経営計画「うぬぼれチャレンジ1000」（平成30年7月期～平成33年7月期）を策定し、中期経営計画の最終年度である平成33年7月期には、関東圏・関西圏・東海圏の3商圏で「鳥貴族」1000店舗・営業利益率8%を達成するため、重要施策である「新規出店の強化」「人財基盤の強化」「経営効率の改善」に引き続き取り組んでおります。また、人件費の上昇、仕入価格の高騰リスクや酒税法改正の影響等の経済的諸条件を総合的に検討し、昨年10月より均一価格を280円（税抜）から298円（税抜）に改定致しました。新たな均一価格においても引き続きお客様にご支持頂けるよう、より一層尽力して参ります。

なお、当第2四半期累計期間は関東圏及び東海圏を中心に43店舗の新規出店を行い、当第2四半期会計期間末日における「鳥貴族」の店舗数は607店舗（前事業年度末比40店舗純増）となりました。当社の直営店につきましては、当第2四半期累計期間は35店舗の新規出店を行い、当第2四半期会計期間末日においては374店舗（同32店舗純増）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間は、関東地方における記録的な長雨や昨年10月において2週続けて週末に台風が上陸したこと、1月の関東地方の豪雪、価格改定等の影響があり、既存店売上高は前年同期比99.9%にとどまりましたが、一方で新規出店による店舗数が増加したこと等により、売上高は16,509,176千円（前年同期比18.5%増）となり、売上総利益は11,407,818千円（同20.7%増）となりました。販売費及び一般管理費は、店舗数拡大による増加等により10,516,784千円（同18.7%増）となりました。これらにより、営業利益は891,033千円（同51.0%増）、経常利益は855,098千円（同47.8%増）、四半期純利益は547,089千円（同30.9%増）となりました。

なお、当社は飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は16,444,934千円となり、前事業年度末と比較して502,859千円の増加となりました。これは主に新規出店に伴い有形固定資産が増加した一方、新規出店のための設備投資及び法人税等の納付により現金及び預金が減少したこと等によるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債は9,610,741千円となり、前事業年度末と比較して2,259千円の増加となりました。

当第2四半期会計期間末の純資産は6,834,192千円となり、前事業年度末と比較して500,599千円の増加となりました。これは利益剰余金が増加した一方、配当金の支払いにより減少したこと等によるものであり、自己資本比率は41.6%（前事業年度末は39.7%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年7月期の通期業績予想につきましては、平成29年9月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年7月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,813,287	3,875,970
売掛金	246,922	261,986
商品及び製品	119,787	124,206
原材料及び貯蔵品	24,117	24,407
その他	864,959	903,099
流動資産合計	6,069,073	5,189,671
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,455,878	7,466,061
その他(純額)	1,375,637	1,633,128
有形固定資産合計	7,831,515	9,099,190
無形固定資産	98,749	85,964
投資その他の資産		
差入保証金	1,516,862	1,622,380
その他	433,539	454,334
貸倒引当金	△7,666	△6,606
投資その他の資産合計	1,942,735	2,070,108
固定資産合計	9,873,000	11,255,263
資産合計	15,942,074	16,444,934
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,068,884	1,027,700
1年内返済予定の長期借入金	632,800	952,964
未払金	1,322,625	1,308,554
未払法人税等	309,110	441,858
賞与引当金	248,289	272,673
株主優待引当金	23,896	22,863
その他	2,292,378	1,690,318
流動負債合計	5,897,986	5,716,932
固定負債		
長期借入金	1,819,362	1,753,902
退職給付引当金	56,836	65,630
役員株式給付引当金	10,662	17,660
資産除去債務	902,588	1,004,733
その他	921,045	1,051,882
固定負債合計	3,710,495	3,893,809
負債合計	9,608,481	9,610,741
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,829	1,491,829
資本剰余金	1,481,829	1,481,829
利益剰余金	3,449,739	3,950,338
自己株式	△89,804	△89,804
株主資本合計	6,333,592	6,834,192
純資産合計	6,333,592	6,834,192
負債純資産合計	15,942,074	16,444,934

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年1月31日)
売上高	13,925,979	16,509,176
売上原価	4,473,152	5,101,358
売上総利益	9,452,827	11,407,818
販売費及び一般管理費	8,862,561	10,516,784
営業利益	590,265	891,033
営業外収益		
受取利息	70	119
保険解約返戻金	2,516	2,385
受取保険金	4,875	589
その他	15,175	6,285
営業外収益合計	22,637	9,380
営業外費用		
支払利息	20,230	29,294
支払手数料	10,681	6,233
たな卸資産廃棄損	-	7,203
その他	3,530	2,584
営業外費用合計	34,441	45,315
経常利益	578,461	855,098
特別利益		
移転補償金	69,938	-
固定資産売却益	12,537	14,476
特別利益合計	82,475	14,476
特別損失		
固定資産除却損	3,428	437
その他	-	45
特別損失合計	3,428	482
税引前四半期純利益	657,508	869,092
法人税、住民税及び事業税	217,894	343,722
法人税等調整額	21,562	△21,719
法人税等合計	239,457	322,003
四半期純利益	418,050	547,089

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成28年8月1日至平成29年1月31日)

当社は、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間(自平成29年8月1日至平成30年1月31日)

当社は、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。